

正しい防災知識を身につけて、 災害から身を守り、皆で生き抜きましょう。

私たちが安心・安全に暮らしていくために、

私たち自身が災害から身体や財産を守る防災対策を知ることは、

自治会活動の中でも最も重要なことです。ひとたび大規模な災害が発生すれば、

被害の拡大を防ぐため行政機関は総力を挙げて対応を図ります。(公助)

しかし被害状況によっては、早期に実効性がある公的対策が及ばない事例があります。

(例えば1995年の阪神／淡路大震災の場合、公助はわずか2.5%)

そこで災害発生直後では、住民一人ひとりあるいは家族と一緒に、

自身の努力で身の安全を守ることが大切になります。(自助)

さらに普段から顔を合わせている近所の人々が集まり、

互いに協力しながら組織的に防災活動に取り組むことにより、大きな力を発揮することができます。(共助)

災害の規模や状況に応じて、

自助・共助・公助を適切に連携させることで、被害を最小限に留めることができます。

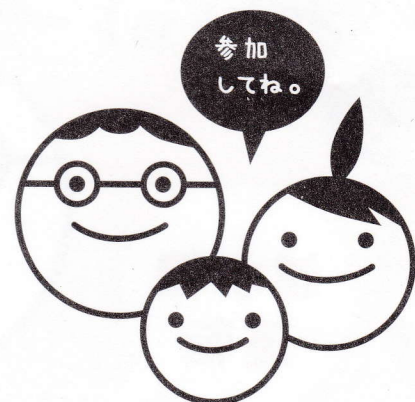
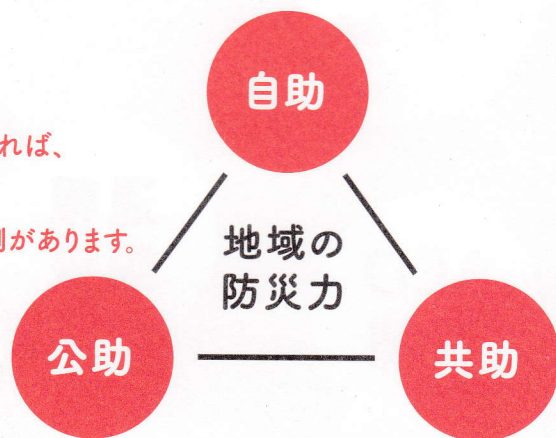
つくし野自治会連合は、自主防災活動の推進を通じて、

住民の皆さんに正しい防災知識を身につけて頂きたいと考えます。

そして訓練を積み重ねて、正しい防災の方法を

いつでも出来るようにすることが、つくし野地区全体の防災力を高め

非常のとき、必ず成果につながると信じています。



防災訓練ブース見取り図
会場／つくし野小学校校庭
小学校に到着後、それぞれの自治会の場所に集合ください。
自治会未加入の方も、お住いの地域にお並びください。